

放射化学討論会

主催 日本化学会, 日本分析化学会

日時 昭和33年11月2日(日), 3日(月)

場所 京都大学法経第2教室及び第3教室

第1日 午前討論, 午後討論

第2日 午前討論, 午後 Hevesy, Feigl 両教授特別講演会

Dr. Georg von Hevesy 教授講演会

(11月3日午後1時 京都大学法経第1教室)

演題 Historical Survey of the Application of the Tracer Method in Analytical and Inorganic Chemistry

Dr. Fritz Feigl 教授講演会

(11月3日午後3時京都大学医化学薬理学講義室)

演題 Organic and Inorganic Spot Tests.

第1会場 (法経第2教室)

11月2日 午前 9.00より

1. 原子炉材料中の不純物の放射化分析 (25)
(日本原子力研) ○中井敏夫・矢島聖使・岡田実藤井 勲
2. 低品位ウラン鉱およびトリウム鉱中のウラン及びトリウムの放射化分析(20) (日本原子力研)
中井敏夫・矢島聖使・○柴 是行
3. 核燃料中の不純物の放射化分析(25) (日本原子力研)(東芝マツダ研) 中井敏夫・矢島聖使・○藤井 勲・柴 是行
——休憩10分——
4. 半導体材料中の不純物の放射化分析(25) (日本原子力研)(東工試) 中井敏夫・矢島聖使・○岡田実藤井 勲
5. ラジウム・ベリリウム中中性子源による銀の放射化分析(20) (甲南大) ○日下 譲・辻 治雄
6. 放射化分析における妨害放射能の予想に対するグラフの利用(20) (東工試) ○岡田実・大久保二郎
7. ケイ素中のヨウ素の放射化分析(17) (電気通信研) ○野崎 正・馬場英夫・荒木日出磨
——昼食休憩——
——午後1時より——
8. サイクロトロンによるプロトン照射を受けたスズターゲットより放射性アンチモンの分離(20) (東大原子核研) 齊藤一夫(東北大理) 瀬戸邦夫 ○鈴木信男
9. 放射化法による $^{58}\text{Ni}(p,pn)^{57}\text{Ni}$, $^{58}\text{Ni}(p,2p)^{57}\text{Co}$, および $^{58}\text{Ni}(p,\alpha)^{55}\text{Co}$ 反応の励起函数の測定(20) (東大原子核研) 田中重男
10. 放射化法による $^{61}\text{Ni}(p,n)^{61}\text{Cu}$ および $^{64}\text{Ni}(p,n)^{64}\text{Cu}$ 反応の励起函数の測定(20) (東大原子核研) 三雲 昂・○田中重男・古川路明
11. JRR-I原子炉を利用する放射化分析の感度(15) (日本原子力研) 中井敏夫(東教育大) ○浜口 博
——休憩10分——
12. 中性子放射化による隕鉄中のタングステンの定量(20) (日本原子力研) 中井敏夫(東教育大) 浜口 博・○井出野榮吉
13. 中性子放射化による隕鉄中のヒ素, アンチモンの定量(20) (日本原子力研) 中井敏夫・(東教育大) 浜口 博・○遠藤 正

14. 白金族元素の放射化分析II. 中性子放射化による隕鉄中の白金, オリヂウム, パラヂウムの定量(20) (日本原子力研) 中井敏夫(東教育大) 浜口 博 ○龜本雄一郎

15. 反跳による核分裂生成物とウラン, ネプツニウムなど重元素との分離(25) (日本原子力研) 中井敏夫・○矢島聖使・藤井 勲
——休憩10分——

16. ホットアトム効果による比放射能の高い放射性クロム ^{51}Cr の製造(20) (日本原子力研) 柴田長夫 ○吉原賢二

17. 亜硫酸イオンの酸化の過程における同位体分別(10) (東工大) 岩崎岩次・○福島 博・下島 光

18. イオウ同位体の酸化および還元における分別効果(東工大) ○下島 光・福富 博・岩崎岩次

11月3日 午前9.00より

19. Szilard—Chalmers 法によるケイ素-31とリン-32の同時製造について(15) (日本原子力研) 池田長生・○海老原寛

20. TBP の中性子照射におけるホットアトム効果(20) (東大理・科研) 齊藤信房・○佐野博敏

21. (n,p) 反応による生体中のリンの放射化分析(第1報)(20) (東大理・科研) 齊藤信房・○西連寺永康・佐野博敏
——休憩10分——

22. ヒ酸水素ナトリウム結晶の中性子照射について(東大理・科研) 齊藤信房・○富田功

23. ヨウ素酸塩の中性子照射におけるホットアトム効果(20) (東大理・科研) 齊藤信房・佐野博敏 ○塩見玲子

24. ウラン塩のホットアトム化学(第1報)(15) (東大理・科研) 齊藤信房 ○関根達也

25. テルルのホットアトム化学(第4報)(15) (東大理・科研) 齊藤信房・○稻荷田万里子
——休憩10分——

26. マンガンクロロフィルのSzilard—Chalmers 反応について(15) (日本原子力研) 鈴木桂枝 ○村上悠紀雄

27. 放射線測定用新螢光物質セキシフェニル(東大原子核研) ○齊藤一夫・菅 浩一・田村道子(電通研) 野崎 正

28. (γ,γ) 反応による放射化について(第7報)・ $^{115}\text{In}(\gamma\gamma)^{115m}\text{In}$ 反応による10キロキュリー ^{60}Co 線源附近の線量測定(20) (日本原子力研) 池田長生・吉原賢二・島田一夫

Hevesy 教授の講演は急病
為取り止めになりました

第2会場 (法経第3教室)

11月2日 —午前9.00時より—

29. アクチニドのトレーサー化学的研究(第2報)
鉍酸-TBP系におけるネプテニウムの行動(20)
(日本原子力研)石森富太郎・中村永子
30. アクチニドのトレーサー化学的研究(第3報)
プロトアクチニウムおよびネプツニウムのクペロ
ン抽出(20) (日本原子力研) 木村 幹
31. TBPによるジルコニウムの分配平衡(15)
(日本原子力研)○梅沢弘一・原 礼之助
32. TTAを用いる⁹⁰Sr—⁹⁰Y系の溶媒抽出分離に關す
る検討(20) (東北大理)鈴木信男・加藤豊明
— 休憩10分 —
33. 各種有機酸塩を含む溶液中より⁹⁰Yの溶媒抽出分
離(15) (金沢大理)○木羽敏泰・河島拓治
34. アセチルアセトンによるウラニウムの抽出分離
(20) (京大化研)重松恒信・田伏正之
35. 過テクネチウム酸のイオン交換(陰イオン樹脂)と
溶媒抽出(15)
(東大教養部)○松浦二郎 小島益生
36. ルテニウムの溶媒抽出(第1報)二,三のニトロソ
化合物によるルテニウムの抽出について(12)
(名工試)○田中吉佐右・甲田善生
— 昼食休憩 —
37. アクチニドのトレーサー化学的研究(第1報)
硝酸によるネプツニウムの酸化(20)
(日本原子力研)○石森富太郎・中村永子
ポロニウム(VI—IV価)の酸化還元電位(15)
(東大教養部)○松浦二郎・M.ハイシンスキー
39. NO₃型陰イオン交換樹脂によるネプツニウムと核
分裂生成物の分離(15)
(日本原子力研) 市川 富士夫
40. 「放射性同位体をトレーサーとして用いる化学的
研究の部」陽イオン交換樹脂によるナトリウム同
位体のイオン交換平衡(20)
(名大理)○大滝仁志・垣花秀武・山崎一雄
— 休憩10分 —
1. 希土類元素のイオン交換樹脂による分離(15)
(京大工)岡田辰三・西 朋太・藤原一郎
42. 重アルカリ金属のイオン交換樹脂による分離(15)
(京大理)石橋雅義・藤永太郎・小山睦夫
内藤泰二
43. 陽イオン交換樹脂による無担体硫酸と磷酸の分離
(20) (日本原子力研)四方英治・山口千鶴子
44. 同位元素希釈定量法による植物中の銀の定量(20)
(東北大理) 鈴木信男
— 休憩10分 —
5. β線後方散乱を利用した金属の分析法の研究(15)
(東北大金研)後藤秀弘・池田重良
46. ジルコニウム中のハフニウムの同位元素希釈分析
法(20) (東北大金研) 天野 恕
47. 核分裂生成物中のルテニウムの分離に關する研究
(1-5) (東北大理) 工藤 洸

48. ガリウムの放射分析法—特にタリウム, インジウ
ムとの分離定量について(15) (九大理)高島良正
49. ジルコニウムとハフニウムの分離(15)
(京大工)岡田辰三・西 朋太・松本智恵博
50. バリウム・ランタン放射平衡混合物より無担体ラ
ンタンの分離(水銀陰極法の適用)(15)
(京大理)石橋雅義・藤永太郎・斎藤篤義
松田訓三
51. ¹³¹Iの製造研究(20) (日本原子力研)四方英治
52. 分析化学における各種縮合リン酸塩の適合に關す
る研究(第7報)・各種縮合リン酸のカルシウム錯イ
オンのイオン交換法による安定度恒数の測定(15)
(広島大理)木曾義之

11月3日 —午前 9.00より—

53. 吸着法による⁹⁰Yの簡易分離法(15)
(東教育大・日本原子力研)池田長生・赤石準
小島良高
54. 尿中のCs-137の迅速定量法(10)
(東京都立大理)半谷高久・柳原栄一
55. 雨塵中のセシウム137の定量について(15)
(群馬大工)○山県 登・山県顕子・松田俊治
56. 1957~58年新潟における雨水中⁹⁰Srの含量(15)
(新潟大理)小山誠太郎・外林 武
57. フォール・アウト中の¹³⁷Csの分析法の検討(15)
(国立予防衛生研)○永井充・安食洋子・伊沢正美
— 休憩10分 —
58. ビキニの灰の放射化学的研究(第3報)
長半減期核種の検出について(20)
(静岡大理)○塩川孝信・八木益男
59. 数種の金属の放射性汚染について(20)
(東北大金研)後藤孝弘・天野 恕
60. 放射性物質による綿布の汚染に対する除去剤の研
究(20)
(日本原子力研)○堀田寛・和達嘉樹 福田治人
61. 放射能ポーログラフ法(第1報), 蛋白二重波に
おけるコバルトの役割について(20)
(広島大理)品川睦明・根津弘幸・山田哲也
62. 水酸化第2鉄によるバリウムの共沈について(15)
(京大理)石橋雅義・藤永太郎・小山睦夫
63. トリリン酸ナトリウム(STP)溶離法による鉄・
ニッケルの分離(15)
(広島大理)品川睦明・木曾義之・色富幸
64. γ-spectrometryの際のβ線の影響について(15)
(日本原子力研)○渡辺 鑽・馬場 宏

懇談会

11月2日(日) 午後6時, 会費約500円
場所 京都大学理学部会議室

Hevesy, Feigl 教授歓迎レセプション

日時 昭和33年11月3日(月) 午後5時
場所 京都市円山公園内 中村樓
会費 1,500円